



年収300万円前後の若い世代が新築マイホームを持ってなくなり、高齢になって子どもたちが独立して、古くなりの多い部屋数を持つ余す世帯も増えている。住宅保全三重(株)は

津市野田泉ヶ丘に住宅展示場を新たに建設。サイエンスホームと提携し、木造2階建てで1千円台のマイホームを実現した。展示場に二歩入ると広いリビングがあり吹き抜けの明るい空間。天井にゆつくり大きなシーリングファンが回っている。コロナ禍で木材供給が

津市野田泉ヶ丘に住宅展示場を作った住宅保全三重(株)代表取締役 藤後 博司さん(63)



家族が帰りたくなる家を作りたいたい!!

減り、需要が高まったこととで2021年以来、世界の木材価格が高騰し、ウッドショックが起こった。木材を輸入に頼る住宅業界は、一気に建築コストが上がった。全国における持ち家主住宅建築の坪単価の水準は62.9万円(2022年)と上昇傾向が継続している。これまで貫して防災、堅牢な家を建てた方が

耐震リフォーム工事を手がけてきたが、「何とかしなければ」と土地さえあれば1千万円台で建てられる高気密、高断熱の家を建てようとする新築部門を強化した。「特別な古民家を除いて、築50年以上の家は耐震工事にお金がかかり、平屋のコンバクトで堅牢な家を建てた方が

国交省は支援している。国は令和12(2030)年までに耐震化できてない建物をおおむねゼロにする目標だ。高気密高断熱ですから一軒の家でエアコンは1台で済む。耐震等級は3で、2025年の法改正を先取りした。「広いリビングとキッチンをつな

節約していた。「真壁」は昔ながらのやり方で柱が見える。「柱の数は1.5倍になり、森の中で住んでいるようです」と言う。「人と木と書いて休む」という字になります。家は家族が帰ってきて休む場所です。ところが最近の家は個室中心の家です。私は家族が集い古き良き、心豊かな時代をよみがえらせる家を提案したい。木の香り高い家を作りたい。ぜひ展

示場に来ていただいで実感していただきたいのです。 ■住宅保全三重(株) 〓松阪市小野江町5-87-4、電話059-8(31)3881、ファクス0598(31)3882。メール tougo@yuretara.com